

施策	5201 生涯学習環境の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	生涯学習の拠点となる施設の整備充実及び、地域住民の相互学習による利用の促進を図る。							
成果指標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [回]	予定	2,000.00	4,500.00	4,600.00	4,700.00	4,800.00	
		実績	4,344.00	7,851.00	8,526.00			
	成果指標2 [人]	予定	702,000.00	718,000.00	735,000.00	753,000.00	787,000.00	
		実績	709,353.00	739,408.00	812,465.00			
		単位コスト	0.51	0.49	0.45			
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	388,041	357,787	412,753				
	実績	362,045	364,934	362,568				
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「社教施設利用者満足度」を向上させるためには、社教施設への関心や利用者数の向上が必要であるため、本単位施策の目標値達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	アシストネット事業ボランティア回数、社会教育施設利用者数ともに目標値を上回ることができた。						
	課題	アシストネット事業の認知度が低い傾向にある。また、施設の中には老朽化に伴う機能の低下や設備の不具合がみられることから、計画的な修繕が必要である。						
	取組方針	アシストネット事業についてFMくらは等を活用しPR活動を推進する。また、計画的・効率的な維持管理を行い、地域の特色ある社会教育施設として施設利用環境の向上を図る。						
外 部 評 価	各成果指標ともに目標を大きく上回る実績となっており、その成果は大いに評価できるものの、目標値の設定が妥当であったか検証し、次期計画の目標設定に反映すべきである。アシストネット事業は先進的な取組みとして注目されており、その成果も評価できるものの、内部評価にもあるように、地域においての認知度向上に努められたい。また、地域の団体やNPO、市民大学OB、生涯学習講座受講者などから人材の発掘に努め、活用できるよう取り組むこと。 本施策に紐づく事業のうち、公民館などの施設維持管理に係るものについて、施設再編計画に沿い無駄のないよう取組むべきである。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	562401	社会教育関係団体補助金(栃木)				1,795	100	
	563501	吹上公民館管理運営費				29,654	100	
	563701	国府公民館管理運営費				36,641	100	
	564303	藤岡公民館管理運営費				33,961	100	
	565004	都賀公民館管理運営費				14,601	100	
	567601	図書館システム管理費				15,466	100	
	582301	とちぎ未来アシストネット事業費(栃木)				6,131	100	
	582304	とちぎ未来アシストネット事業費(都賀)				848	100	
	582306	とちぎ未来アシストネット事業費(岩舟)				879	100	
716201	栃木市図書館岩舟館管理運営費				13,669	100		

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	5201 生涯学習環境の充実		
区分	妥当性	妥当	社会教育法第5条に位置付けられている事務のため、市で行うことは妥当である。
	コスト削減の余地	無	本施策においては、社会教育施設の維持管理費が多くを占めているため、コスト削減は難しい。
	受益者負担	適正	使用料等の見直しについては、財政課主導の下、適宜行っていることから適正である。
	上位貢献度	有効	個々の事務事業の推進による貢献度が高いことから、単位施策貢献度が高いと判断した。
	類似事業の有無	無	
	成果向上の余地	有	施設利用者数が前年度より伸びていることから、まだ成果向上の余地があると判断した。
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「各種学級・講座受講者満足度」を向上させるためには、各種学級・講座等を充実させるための個々の事務事業の貢献度は高いと判断した。	
	達成状況	とちぎ未来アシストネット事業の推進により、ボランティア活動回数が伸びていると共に、社会教育施設（公民館・集会所・コミュニティーセンター・図書館）の環境改善及び講座等の充実により利用者数が増えたと考える。	
	課題	とちぎ未来アシストネット事業については、事業名称としての認知度が、ボランティア活動をしている当事者にとっても、まだ低い状況にある。社会教育施設については、昭和50年代に建設された施設があるため、老朽化に伴う不具合などが発生しているため、適宜修繕をしている状況にあるが、引き続き計画的な修繕が必要である。	
	取組方針	とちぎ未来アシストネット事業については、効果的に周知するため、「コミュニティFMくらら」を活用したり、市の広報誌を活用したりしながら、事業の啓発活動を推進していきたい。また、社会教育施設については、老朽施設のメンテナンスを適切に行いながら、ソフト事業の充実に努め、利用者数の増加に結びつけていきたい。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	562501	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	コミュニティ施設管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係						担当者	上田久美子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	14,080		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 旧栃木市内のコミュニティ施設(第三地区、第四地区、第五地区、第六地区、栃木第一小学校集会室)の管理及び維持補修を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) コミュニティ施設を運営するうえで必要な光熱水費・燃料費が適正に支出されていること。 年々老朽化する施設が維持補修でき、市民が快適に使用することができること。							

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成26年度		平成27年度		
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業内容】施設の管理及び維持補修を行った。		【事業内容】施設の管理及び維持補修を行った。	
	県支出金	0	0	【成果】第三地区(空調設備改修)、第四地区(オペレーター修繕、避難口誘導灯取替、窓ガラス修理、トイレ詰まり、漏水修理、誘導灯予備電池取替、空調設備改修)、第五地区(トイレ小便器修繕)、第六地区(畳表替、冷蔵庫購入)、南部地区コミュニティ運動広場(樹木伐採・剪定)を行い、施設環境を整えた。		【成果】第三地区(ブラインド修繕工事、和室エアコン修繕工事)、第四地区(トイレ内装改修工事、湯沸室窓修繕工事、排水管修繕工事、トイレ配管改修工事、トイレ詰り修理工事、天井改修工事)、第五地区(和室畳替え工事、男子トイレ便器取替工事)、第六地区(男女トイレ照明用リモコンリレー修繕工事、大会議室収納扉修繕工事、空調機修繕工事)を行い、施設環境を整えた。	
	地方債	0	0				
	その他特財	423	419				
	一般財源	5,742	5,656				
	事業費 a	6,165	6,075				
	人件費 b	3,000	3,750				
減価償却費 c	0	0					
総事業費 a+b+c	9,165	9,825	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	
結果指標 1	86,831.00	93,365.00	利用人数	コミュニティ施設(五箇所)の年間延べ利用人数 H27目標値：90,000人	人	妥当性	
結果指標 2	5,315.00	4,812.00	利用団体数	コミュニティ施設(五箇所)の年間延べ利用団体数 H27目標値：5,000団体	団体	妥当	
						コスト削減の余地	
						受益者負担	
						上位貢献度	
						類似事業の有無	
						成果向上の余地	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 利用者の利便性及び安全確保に配慮した施設の維持管理を行う。					
--------	---	--	--	--	--	--

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	562701	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	皆川城内集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 厚生センター係						担当者	柏崎明子				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	S 5 2 ~ H 3 1 年度		全体事業費 (人件費除)	6,750 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 皆川城内集会所の管理及び維持補修を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 皆川城内集会所を運営するうえで必要な光熱水費・燃料費が適正に支出されていること。年々老朽化する施設が維持補修でき、市民が快適に使用することができること。					
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	【事業の内容】 ・皆川城内集会所の管理及び維持補修を行う			・皆川城内集会所の管理及び維持補修を行う				
	県支出金	0	0		【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 174回 1,167人 維持修繕 給湯器漏水修理			【成果】 ・平成27年度実績 利用者数 173回 1,166人 維持修繕 トイレ漏水修繕工事				
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	504	511									
	事業費 a	504	511									
	人件費 b	750	750									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	1,254	1,261	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	81.71	87.35	執行率	決算額 ÷ 予算額 H 2 7 目標値 1 0 0 %	%	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	1,167.00	1,166.00	利用者数	利用者数 H 2 7 目標値 1 , 5 0 0 人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 利用者の利便性を配慮し施設の維持管理を行う。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	562801	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	新栃木コミュニティ会館管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 厚生センター係						担当者	柏崎明子				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	S 5 7 ~ H 3 1 年度		全体事業費 (人件費除)	6,360 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 新栃木コミュニティ会館の管理及び維持補修を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 新栃木コミュニティ会館を運営するうえで必要な光熱水費・燃料費が適正に支出されていること。年々老朽化する施設が維持補修でき、市民が快適に使用することができること。					
											成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)					

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込											
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0										
	県支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他特財	1	1										
	一般財源	549	601										
	事業費 a	550	602										
	人件費 b	750	750										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	1,300	1,352											
結果指標 1	88.26	98.71	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2	1,312.00	1,398.00	執行率	決算額÷予算額 H27目標値 100%	%		妥当	無	適正	有効	無	有	
			利用者数	利用者数 H27目標値 1,300人	人								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 利用者の利便性を配慮し施設の維持管理を行う。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563101	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	栃木公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 栃木公民館係						担当者	大橋幸子				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H30 年度		全体事業費 (人件費除)	102,935		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・生涯学習の増進と共に公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 1101									
	単位：千円、人						成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)									
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0		事業の内容 平成26年度 【事業の内容】 栃木公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,713件 ・利用者数 28,057件						事業の内容 平成27年度 【事業の内容】 栃木公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,916件 ・利用者数 29,904件					
	県支出金		0	0													
	地方債		0	0													
	その他特財		907	1,021													
	一般財源		10,825	11,422													
	事業費 a		11,732	12,443													
	人件費 b		15,000	15,000													
減価償却費 c		0	0														
総事業費 a+b+c		26,732	27,443		指標名	算出方法		単位	事業の事後評価 妥当性 コスト削減の余地 受益者負担 上位貢献度 類似事業の有無 成果向上の余地 妥当 無 適正 有効 無 有								
結果指標 1		1,713.00	1,916.00		利用件数 1,400件	年間利用件数 1,400件		件									
結果指標 2		28,057.00	29,904.00		利用者数 31,000人	年間利用者数 31,000人		人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る																
事後評価備考																	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563102	事業区分	01	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	大平公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 大平公民館係						担当者	渡辺由夫				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H18 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	260,000	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 公民館管理業務 公民館貸出事務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 公民館の管理及び貸館業務の充実							
	成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度		
	県支出金	0	0	平成27年度		
	地方債	0	0	【事業の内容】 大平公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用者数 34,701人 ・利用件数 2,192件	【事業の内容】 大平公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用者数 2,187件 ・利用件数 36,442人	
	その他特財	1,657	1,969			
	一般財源	20,787	19,535			
	事業費 a	22,444	21,504			
	人件費 b	7,500	7,500			
減価償却費 c	0	0				
総事業費 a+b+c	29,944	29,004	指標名	算出方法	単位	
結果指標 1	36,442.00	34,701.00	利用者数	人数 H27目標値：36,000人	人	
結果指標 2	2,187.00	2,192.00	利用件数	件数 H27目標値：2,500件	件	
事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	妥当	有	適正	有効	無	無

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域に根ざした公民館を目標に公民館の施設の管理と貸館業務の推進に努める。
--------	--

事後評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563106	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	岩舟公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 岩舟公民館係						担当者	早乙女 透		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	45,045	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館管理業務 ・公民館貸出業務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・公民館の管理及び貸館業務の充実							
	単位：千円、人						成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)							

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 その成果	平成26年度		平成27年度					
	県支出金		0		【事業内容】 岩舟公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 995件 ・利用者数 16,969人	【事業内容】 ・公民館の管理業務 ・公民館の貸出業務 【成果】 ・利用件数 1,380件 ・利用者数 17,119人						
	地方債		0									
	その他特財		779									
	一般財源	14,322	6,445									
	事業費 a	14,322	7,224									
	人件費 b	12,750	12,750									
減価償却費 c		0										
総事業費 a+b+c	27,072	19,974	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	995.00	1,380.00	利用件数	年間利用件数 H27目標値 1,400件	件		妥当	無	適正	有効	無	無
結果指標 2	16,969.00	17,119.00	利用者数	年間利用者数 H27目標値 16,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域に根ざした公民館を目標に公民館の管理と貸館業務の推進に努めた。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563301	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	大宮公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 大宮公民館係						担当者	小島佳栄				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	125,272	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等出張所業務を行う ・各種団体の支援を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・生涯学習の増進と大宮地区の活性化。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。							
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容				成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)						
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成26年度 【事業の内容】 大宮公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,537件 ・利用者数 23,202人			平成27年度 大宮公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。 <内容> ・利用件数 1,524件 ・利用者数 21,985人 ・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料、公民館敷地借上料、維持管理補修等							
	県支出金		0	0											
	地方債		0	0											
	その他特財		948	769											
	一般財源		10,696	8,319											
	事業費 a		11,644	9,088											
	人件費 b		15,000	15,000											
減価償却費 c		0	0												
総事業費 a+b+c		26,644	24,088	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		1,537.00	1,524.00	利用件数 H27目標値1,700件	年間利用件数	件		妥当	無	適正	有効	無	有		
結果指標 2		23,202.00	21,985.00	利用者数 H27目標値29,000人	年間利用者数	人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・出張所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。														
事後評価備考															

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563401	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	皆川公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 皆川公民館係						担当者	高田佐智代				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	95,992		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等出張所業務を行う。 ・各種団体の支援を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。								
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	達成目標						とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)						
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 皆川公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 588件 ・利用者数 15,492人						平成26年度 皆川公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 <内容> ・利用件数 646件 ・利用者数 13,778人 ・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料					
	県支出金		0	0												
	地方債		0	0												
	その他特財		512	424												
	一般財源		7,151	5,964												
	事業費 a		7,663	6,388												
	人件費 b		15,000	15,000												
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a+b+c		22,663	21,388	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		588.00	646.00	利用件数	年間利用件数 H27目標値600件		件		妥当	無	適正	有効	無	有		
結果指標 2		15,492.00	13,778.00	利用者数	年間利用者数 H27目標値16,000人		人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・公民館業務や地区行事などを公民館だよりへ掲載・館内に掲示することで、地域住民への広報活動を充実させる。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563501	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	吹上公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 吹上公民館係						担当者	村上仁美				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	89,438	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う ・住民票交付等出張所業務を行う。 ・各種団体の支援を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・生涯学習の推進とともに、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 ・地域課題の解決を支援する。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 吹上公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 928件 ・利用者数 15,515人 臨時業務員賃金(半日)、公用車燃料、電気料、施設維持管理業務委託料、公民館敷地借上料											
	県支出金	0	0												
	地方債	0	0												
	その他特財	436	344												
	一般財源	6,213	6,810												
	事業費 a	6,649	7,154												
	人件費 b	22,500	22,500												
減価償却費 c	0	0													
総事業費 a+b+c	29,149	29,654	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価									
結果指標 1	928.00	950.00	利用件数	年間利用件数 900件	件	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
結果指標 2	15,515.00	20,084.00	利用者数	年間利用者数 15,000人	人	妥当	無	適正	有効	無	有				

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)										
	・公民館業務、出張所業務については、公民館だより等で地域住民に広報し利用拡大を図る ・各種団体の自主運営意識の強化を図る										

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563601	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	寺尾公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 寺尾公民館係						担当者	江面 奈々				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例・施行規則								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	114,514	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適正な管理運営を行う。 ・住民票交付等支所業務を行う。 ・各種団体の支援をする。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 生涯学習環境の充実									
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		事業の内容						事業の成果							
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成26年度						平成27年度						
	県支出金		0	0	【事業の内容】寺尾公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。						寺尾公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。						
	地方債		0	0	【成果】						<内容>						
	その他特財		122	85	・利用件数 252件						・利用件数 406件						
	一般財源		15,586	5,690	・利用者数 7,202人						・利用者数 9,834人						
	事業費 a		15,708	5,775	・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料、寺尾公民館改修工事費、自治公民館建築費等補助金						・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料						
	人件費 b		15,000	15,000													
減価償却費 c		0	0														
総事業費 a+b+c		30,708	20,775	指標名	算出方法				単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1		252.00	406.00	利用件数	25件×12月=300件 H27目標値360件				件		妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2		7,202.00	9,834.00	利用者数	30人×300件=9,000人 H27目標値12,000人				人								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・出張所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体と協働で、より良い公民館活動ができるよう努める。																
事後評価備考																	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563701	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策								
事業名	国府公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実			生涯学習環境の充実							
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 国府公民館係						担当者	福田智世				従											
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	64,970		千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・ 公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・ 住民票交付等支所業務を行う。 ・ 各種団体の支援をする。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・ 生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・ 各種団体の自主的な運営を推進する。 ・ 地域課題の解決を支援する。											
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込											成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)								
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 平成26年度 【事業の内容】 国府公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・ 利用件数 866件 ・ 利用者数 20,523人 平成27年度 【事業の内容】 国府公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・ 利用件数 1,498件 ・ 利用者数 36,953人																		
	県支出金		0	0																			
	地方債		0	0																			
	その他特財		678	634																			
	一般財源		7,033	6,007																			
	事業費 a		7,711	6,641																			
	人件費 b		22,500	30,000																			
減価償却費 c		0	0																				
総事業費 a+b+c		30,211	36,641	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地								
結果指標 1		866.00	1,498.00	利用件数	年間利用件数 H27目標値1,000件			件		妥当	無	適正	有効	無	有								
結果指標 2		20,523.00	36,953.00	利用者数	年間利用者数 H27目標値20,000人			人															
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・ 支所業務、公民館業務については、公民館だよりで地域住民に広報し、利用拡大を図る。 ・ 各種団体の自主運営意識の強化を図る。																						
事後評価備考																							

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	564103	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	藤岡都賀集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保係						担当者	川田照寿				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H18 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	6,446 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 施設の管理 施設の維持補修 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民が快適に使用できるよう施設の管理及び維持補修を行う。 経費の適正な執行を行う。					
	達成目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度						平成27年度					
	県支出金	0	0	【事業の内容】 ・藤岡都賀集会所の管理及び維持補修を行う						・藤岡都賀集会所の管理及び維持補修を行う					
	地方債	0	0												
	その他特財	3	0	【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 43回 650人						【成果】 ・平成27年度実績 利用者数 47回 494人 維持修繕 畳表替工事					
	一般財源	412	499												
	事業費 a	415	499												
	人件費 b	750	750												
減価償却費 c	0	0													
総事業費 a+b+c	1,165	1,249	指標名	算出方法				単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	79.04	91.58	執行率	決算額÷予算額 H27目標値 100%				%		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	650.00	494.00	利用者数	利用者数 H27目標値 800人				人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 都賀集会所を維持管理するうえで必要な事業である。														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	564203	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	藤岡富吉集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保館係						担当者	川田照寿				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例				事業期間	H18 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	10,719	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういふ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・施設の管理 ・施設の維持補修 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民が快適に使用できるよう施設の管理及び維持補修を行う。 経費の適正な執行を行う。							
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果	
国庫支出金	0	0	平成26年度		平成27年度	
県支出金	0	0	【事業の内容】		・藤岡富吉集会所の管理及び維持補修を行う	
地方債	0	0	【成果】		・平成27年度実績	
その他特財	0	0	・平成26年度実績		利用者数 47回 429人	
一般財源	448	451	利用者数 59回 698人		維持修繕 誘導灯修理	
事業費 a	448	451	維持修繕 誘導灯バッテリー交換			
人件費 b	750	750				
減価償却費 c	0	0				
総事業費 a+b+c	1,198	1,201	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価
結果指標 1	74.21	86.70	執行率	決算額÷予算額 H27目標値 100%	%	妥当性
結果指標 2	698.00	429.00	利用者数	利用者数 H27目標値 850人	人	妥当
妥当性: 妥当 コスト削減の余地: 無 受益者負担: 適正 上位貢献度: 有効 類似事業の有無: 無 成果向上の余地: 有						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 富吉集会所を維持管理するうえで必要な事業である。					
--------	--	--	--	--	--	--

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	564303	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	藤岡公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 藤岡公民館係						担当者	佐山厚子				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	387,205	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・藤岡公民館及び各地区公民館管理業務 ・藤岡公民館及び各地区公民館貸出事務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用促進を図る。					
											成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)					

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込																
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果 平成26年度 【事業内容】 ・藤岡公民館及び地区公民館の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 利用件数 2,052件 利用者数 32,561人 平成27年度 【事業内容】 ・藤岡公民館及び地区公民館の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 利用件数 2,511件 利用者数 44,958人														
	県支出金	0	0															
	地方債	0	0															
	その他特財	942	842															
	一般財源	22,521	25,094															
	事業費 a	23,463	25,936															
	人件費 b	7,500	8,025															
減価償却費 c	0	0																
総事業費 a+b+c	30,963	33,961	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地						
結果指標 1	2,052.00	2,511.00	利用件数	年間利用件数 H27目標値：2,500	件								妥当	有	適正	有効	無	有
結果指標 2	32,561.00	44,958.00	利用者数	年間利用者数 H27目標値：40,000	人													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	・地域住民の活動の充実が図れるよう施設の維持管理と貸館業務の推進に努めた。 ・建物の老朽化により、修繕箇所が増えてきている。修繕費の増大が今後の課題である。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	564305	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	西方公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 西方公民館係						担当者	佐藤 育男		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市公民館条例、栃木市公民館施行規則								事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	27,090	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 昭和49年に設立され、旧西方町の中央公民館として生涯学習の中心的役割を担う施設であり、市民の生涯学習事業・社会教育事業・公民館業務・各種団体の育成等の活動環境を維持するため、施設の管理運営を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・生涯学習の推進とともに、公民館の利用促進をはかる。 ・各種団体の自主的な活動を支援する。 ・老朽化した施設を管理する。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度		平成27年度						
	県支出金	0	0	【事業の内容】 西方公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。		【事業の内容】 西方公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進した。						
	地方債	0	0	【成果】 ・利用件数 558件 ・利用人数 8,247人		【成果】 ・利用件数 566件 ・利用人数 7,911人						
	その他特財	199	150									
	一般財源	3,274	4,427									
	事業費 a	3,473	4,577									
	人件費 b	4,500	4,500									
減価償却費 c	0											
総事業費 a+b+c	7,973	9,077	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	558.00	566.00	年間利用件数	件数 平成27年度目標値 500件	件		妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2	8,247.00	7,911.00	年間利用人数	人数 平成27年度目標値 8,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・利用者が快適に施設を利用できるよう、計画的な改修を予定し、今年度においても計画どおり改修を実施することができた(主にホールの照明)。 ・今後は、課題である床の全面張替や残りの照明器具等においても計画的に改修に努めると共に、公民館事業や生涯学習に繋がる事業を充実させ、公民館利用者の増加に繋げていきたい。					

事後評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	565004	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	都賀公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 都賀公民館係						担当者	田嶋律子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	155,292	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 施設の管理運営を行い、学習・文化活動の場を提供する 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 生涯学習の増進と共に公民館の利用を増加させる。							
							成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)							

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容 その成果			事業の事後評価					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成 26 年度 【事業の内容】 都賀公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する 【成果】 ・利用件数 1,290件 ・利用者数 20,935人 ・都賀公民館駐輪場設置工事 745千円 ・都賀公民館1階西側トイレ改修工事443千円 ・新名地自治公民館改修費補助金758千円			平成 27 年度			事業の事後評価 妥当性 妥当 コスト削減の余地 無 受益者負担 適正 上位貢献度 有効 類似事業の有無 無 成果向上の余地 有	
	県支出金	0	0				【事業の内容】 都賀公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,281件 ・利用者数 22,462人 ボタン電話取替工事 486千円 公民館外部時計台時計交換工事 302千円				
	地方債	0	0								
	その他特財	755	703								
	一般財源	12,294	11,648								
	事業費 a	13,049	12,351								
	人件費 b	2,250	2,250								
減価償却費 c	0	0									
総事業費 a+b+c	15,299	14,601	指標名	算出方法	単位						
結果指標 1	1,290.00	1,281.00	利用件数	年間利用件数 H27目標値: 870	件						
結果指標 2	20,935.00	22,462.00	利用者数	年間利用者数 H27目標値: 19,150	人						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域に根ざした公民館を目標に公民館の管理と貸館業務の推進に努める。										
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566402	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平榎本集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保館係					担当者	吉羽美千代					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	12,233	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。榎本集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 榎本集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。					
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		事業の内容		事業の内容		事業の内容		事業の内容		事業の内容		事業の内容				
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度		平成27年度		【事業の内容】		【成果】		【事業の内容】		【成果】		【事業の内容】			
	県支出金	0	0	【事業の内容】		【成果】		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う			
	地方債	0	0	【事業の内容】		【成果】		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う			
	その他特財	4	0	【事業の内容】		【成果】		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う			
	一般財源	442	374	【事業の内容】		【成果】		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う			
	事業費 a	446	374	【事業の内容】		【成果】		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う			
	人件費 b	750	750	【事業の内容】		【成果】		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う			
減価償却費 c	0	0	【事業の内容】		【成果】		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う		・平成27年度実績		・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う				
総事業費 a+b+c	1,196	1,124	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 1	92.17	83.43	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H27目標値 100%		%													
結果指標 2	1,619.00	1,927.00	利用者数	利用者のべ人数 H27目標値 2350人		人													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 榎本集会所を維持管理するうえで必要な事業である。																	
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考																		
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566502	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平伯仲集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保係						担当者	川田照寿				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	7,999	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。伯仲集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 伯仲集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度					
	県支出金	0	0		【事業の内容】 ・大平伯仲集会所の管理及び維持補修を行う					・大平伯仲集会所の管理及び維持補修を行う 【成果】 ・平成27年度実績 利用者数 89回 843人 維持修繕 外灯修理					
	地方債	0	0		【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 83回 762人 維持修繕 誘導灯交換										
	その他特財	3	0												
	一般財源	457	389												
	事業費 a	460	389												
	人件費 b	750	750												
減価償却費 c	0	0													
総事業費 a+b+c	1,210	1,139	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価					
結果指標 1	93.40	85.22	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H27目標値 100%					%	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	762.00	843.00	利用者数	利用者のべ人数 H27目標値 1000人					人	妥当	無	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 伯仲集会所を維持管理するうえで必要な事業である。														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566602	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	大平真弓集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保係					担当者	吉羽美千代					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市集会所条例		事業期間	H17 ~ H31 年度			全体事業費 (人件費除)	9,144		千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。真弓集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 真弓集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)									

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		事業の成果	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度		平成27年度
	県支出金	0	0	【事業の内容】		・大平真弓集会所の管理及び維持補修を行う 【成果】 ・平成27年度実績 利用者数 185回 1,902人
	地方債	0	0	・大平真弓集会所の管理及び維持補修を行う		
	その他特財	1	0	【成果】		
	一般財源	455	359	・平成26年度実績		
	事業費 a	456	359	利用者数 196回 1,901人		
	人件費 b	750	750	維持修繕 誘導灯交換		
減価償却費 c	0	0				
総事業費 a+b+c	1,206	1,109	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価 妥当性 コスト削減の余地 受益者負担 上位貢献度 類似事業の有無 成果向上の余地 妥当 無 適正 有効 無 有
結果指標 1	90.86	76.51	予算執行率	決算額÷予算額 H27目標値 100%	%	
結果指標 2	1,901.00	1,902.00	利用者数	利用者のべ人数 H27目標値 3100人	人	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 真弓集会所を維持管理するうえで必要な事業である。					
--------	--	--	--	--	--	--

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事 様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566702	事業区分	01	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平西水代集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保係						担当者	吉羽美千代				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	11,779	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。西水代集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 西水代集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他特財	3	0
	一般財源	521	449
	事業費 a	524	449
	人件費 b	750	750
減価償却費 c	0	0	
総事業費 a+b+c	1,274	1,199	
結果指標 1	91.73	85.59	
結果指標 2	3,135.00	3,255.00	

事業の内容 その成果	平成 26 年度	平成 27 年度
	【事業の内容】 ・大平西水代集会所の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 241回 3,135人 維持修繕 誘導灯交換	・大平西水代集会所の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成27年度実績 利用者数 255回 3,255人 維持修繕 ホールガラス修理 襖修理

指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H27目標値 100%								%
結果指標 2	利用者数	利用者のべ人数 H27目標値 4500人								人
				妥当	無	適正	有効	無	有	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 西水代集会所を維持管理するうえで必要な事業である。
--------	---

事後評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566802	事業区分	01	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	大平富田集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保係					担当者	吉羽美千代					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市集会所条例		事業期間	H17 ~ H31 年度			全体事業費 (人件費除)	14,890		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。富田集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 富田集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。								
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		事業の成果	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度		平成27年度
	県支出金	0	0	【事業の内容】		・大平富田集会所の管理及び維持補修を行う 【成果】 ・平成27年度実績 利用者数 266回 3,312人 維持補修 雨漏り補修工事 床修繕工事 ガス配管修繕工事
	地方債	0	0	・大平富田集会所の管理及び維持補修を行う		
	その他特財	14	16	【成果】		
	一般財源	482	470	・平成26年度実績		
	事業費 a	496	486	利用者数 266回 2,236人		
	人件費 b	750	750	維持補修 誘導灯交換		
減価償却費 c	0	0				
総事業費 a + b + c	1,246	1,236	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価 妥当性 コスト削減の余地 受益者負担 上位貢献度 類似事業の有無 成果向上の余地 妥当 無 適正 有効 無 有
結果指標 1	91.05	94.72	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H27目標値 100%	%	
結果指標 2	2,236.00	3,312.00	利用者数	利用者のべ人数 H27目標値 4300人	人	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 富田集会所を維持管理するうえで必要な事業である。					
--------	--	--	--	--	--	--

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100403	予算事業コード	567601	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	図書館システム管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 生涯学習課 社会教育係						担当者	須見 誠		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	103,871		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木市図書館システムの管理を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・図書館サービスの質の向上を図る。							
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容 その成果									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度		平成27年度						
	県支出金	0	0	【事業の内容】 ・図書館のシステムのネットワーク化による利用者均一サービス提供		【事業の内容】 ・図書館のシステムのネットワーク化による利用者均一サービス提供						
	地方債	0	0	【成果】 ・6館連動した図書館資料登録、利用者データ、図書の貸出・返却、予約リクエスト受入等の管理運営を行うため、図書館システムの統合を行った。		【成果】 ・新システムの導入により、利便性が向上した。 ・図書館システムによる図書館資料登録、利用者データ、図書の貸出・返却、予約リクエスト受入等の管理を行った。						
	その他特財	0	0									
	一般財源	11,342	12,466									
	事業費 a	11,342	12,466									
	人件費 b	3,000	3,000									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	14,342	15,466	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	6.00	6.00	システム設置館数	システム設置館数：H27目標値 6施設	施設	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	747,377.00	803,272.00	貸出点数	図書と視聴覚資料の貸出点数：H27目標値 760,000点	点							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・図書館システムの統合を図ったことで、一枚のカードで市内6館を利用でき、かつ市内の図書館で借りた資料は6館のどこの図書館でも返却できるなどの利便性の向上が図られた。 ・図書館システムを更新したことにより処理能力等、機能が向上した。また、タッチパネル式利用者端末等、すべての図書館に設置し、サービスの均一化が図られた。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582301	事業区分	02	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(栃木)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 栃木公民館係						担当者	大橋幸子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	5,083	千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)											

単位: 千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成26年度			平成27年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。			アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修会及びボランティア交流会を開催した。 平成28年度から生涯学習課より事務移管。					
	県支出金	459	581									
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	230	300									
	事業費 a	689	881									
	人件費 b	5,250	5,250									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	5,939	6,131	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	3,196.00	3,740.00	ボランティア活動回数	年間活動回数: H27目標値 1,500回	回		妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2	74,366.00	87,795.00	ボランティア数	ボランティア活動延べ人数: H27目標値 9,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)										
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度を高めるため、引き続き広報・啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。また、今年度においては、ボランティア交流会を開催したことにより、ボランティア同士の連携を図る機会を設けることができたので、次年度以降も継続して実施していきたい。										

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582302	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(大平)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 大平公民館係						担当者	渡辺由夫				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H21 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	5,000		千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成26年度			平成27年度												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。			【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域の教育力を高める。											
	県支出金	84	74	【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。			【成果】 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 H27実績：実施回数1,292回 ボランティア動員数2,332人 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。											
	地方債	0	0	事業の内容 その成果	指標名			算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	その他特財	0	0		ボランティア活動回数	年間活動回数 H27目標値：150回			回	妥当	無		適正	有効	無	有		
	一般財源	42	37		ボランティア数	ボランティア活動述べ人数 H27目標値：4,000人			人									
	事業費 a	126	111															
	人件費 b	1,500	1,500															
減価償却費 c	0	0																
総事業費 a+b+c	1,626	1,611																
結果指標 1	1,296.00	1,292.00																
結果指標 2	128,115.00	2,332.00																

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)									
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修会等を実施する必要がある。									

事後評価備考										
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582303	事業区分	02	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策											
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費（藤岡）										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実											
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 藤岡公民館係						担当者	佐山厚子				従													
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	1,840		千円											
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。																	
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)																				
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		事業の内容 ・藤岡公民館にアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校、地域コーディネーター研修会を開催した。																				
	県支出金	104	105																						
	地方債		0																						
	その他特財		0																						
	一般財源	53	53																						
	事業費 a	157	158																						
	人件費 b	1,500	2,025																						
減価償却費 c		0																							
総事業費 a+b+c	1,657	2,183		指標名	算出方法		単位	事業の事後評価 <table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>受益者負担</td> <td>上位貢献度</td> <td>類似事業の有無</td> <td>成果向上の余地</td> </tr> <tr> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </table>						妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	妥当	無	適正	有効	無	有
妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地																				
妥当	無	適正	有効	無	有																				
結果指標 1	1,107.00	709.00		ボランティア活動回数	年間活動回数 H27目標値：750		回																		
結果指標 2	8,810.00	10,529.00		ボランティア数	ボランティア活動延べ人数 H27目標値：4,700		人																		
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修等を実施する必要がある。																								
事後評価備考																									

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582304	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(都賀)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 都賀公民館係						担当者	田嶋律子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	229		千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)											

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成26年度		平成27年度								
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。活動回数796 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。		【事業内容】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域コーディネーター及びボランティアの発掘・育成をすることにより、地域の教育力の向上を図る。 【成果】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。						
	県支出金		84	65										
	地方債		0	0										
	その他特財		0	0										
	一般財源		35	33										
	事業費 a		119	98										
	人件費 b		750	750										
減価償却費 c		0	0											
総事業費 a+b+c		869	848	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1		796.00	926.00	件数	学校支援ボランティア年間活動件数	H27目標値： 880		件	妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2		14,929.00	20,279.00	人数	学校支援ボランティア年間活動人数	H27目標値： 1,000		人						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報、啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修会等を実施する必要がある。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582305	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(西方)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部署・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 西方公民館係					担当者	久保 文孝		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H24 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	648	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。					
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成26年度						平成27年度					
	県支出金		63	54	【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。											
	地方債		0	0	【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・地域教育協議会の開催(5月、1月) ・アシストネットだよりの発行(8月、1月) ・地域教育協議会委員の研修(8月)											
	その他特財		0	0												
	一般財源		31	27												
	事業費 a		94	81												
	人件費 b		1,500	1,500												
減価償却費 c		0	0													
総事業費 a+b+c		1,594	1,581	指標名	算出方法				単位	事業の事後評価						
結果指標 1		527.00	495.00	ボランティア活動回数	回数	平成27年度目標値 500件				回	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2		3,076.00	2,789.00	ボランティア数	人数	平成27年度目標値 3,000人				人	妥当	無	適正	有効	有	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)															
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努めたところ、地域へ事業が浸透され、ボランティアへの意識が高まった。 ・地域教育協議会に活動部、研修部、広報部を部会を設置し、部会ごとの活動を行った。設置2年目であるため、更なる活動の充実に努める。															

事後評価備考																
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582306	事業区分	02	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(岩舟)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 岩舟公民館係						担当者	早乙女 透		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	693		千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。								
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														
単位:千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金		0													
	県支出金		86													
	地方債		0													
	その他特財		0													
	一般財源	168	43													
	事業費 a	168	129													
	人件費 b	750	750													
減価償却費 c		0														
総事業費 a+b+c	918	879														
結果指標 1	924.00	919.00	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 2	23,417.00	28,733.00	ボランティア活動回数	年間活動回数 H27目標値 600回			回		妥当	無	適正	有効	無	無		
			ボランティア数	ボランティア活動延べ人数 H27目標値 3,000人			人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・岩舟エリア地域教育協議会を中心に地域・学校・家庭の教育現状を共有した。 ・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、学校コーディネーターが連携し、とちぎ未来アシストネット事業を推進した。															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	584406	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	西根南集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保館係						担当者	川田照寿				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H26 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	2,225 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。 西根南集会所事業を実施するための経常的な事業。 施設を維持管理するための経常的な事業 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 西根南集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。									
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込															
事業費・指標の推移	国庫支出金	0															
	県支出金	0															
	地方債	0															
	その他特財	0															
	一般財源	489	377														
	事業費 a	491	377														
	人件費 b	750	750														
減価償却費 c	0																
総事業費 a+b+c	1,241	1,127															
結果指標 1	80.83	75.38															
結果指標 2	145.00	276.00															
事業の内容 その成果	平成 26 年度						平成 27 年度										
	【事業の内容】 ・岩舟西根南集会所の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 24回 145人						・岩舟西根南集会所の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成27年度実績 利用者数 31回 276人										
指標名	算出方法					単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
執行率	決算額 ÷ 予算額 H27目標値 100%					%											
利用者数	利用者数 H27目標値 200人					人											
妥当	無					適正	有効	無	有								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 西根南集会所を維持管理するうえで必要な事業である。																
事後評価備考																	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	584506	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	下津原集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保館係						担当者	川田照寿				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H26 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	1,984	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。 下津原集会所事業を実施するための経常的な事業。 施設を維持管理するための経常的な事業。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 下津原集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。					
	成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果	
国庫支出金		0	平成26年度		平成27年度	
県支出金		0	【事業の内容】		・岩舟下津原集会所の管理及び維持補修を行う。	
地方債		0	【成果】		【成果】	
その他特財	6	16	・平成26年度実績		・平成27年度実績	
一般財源	492	668	利用者数 256回 2,675人		利用者数 205回 2,084人	
事業費 a	498	684	維持修繕 駐車場整地補修		維持修繕 エアコン取替工事	
人件費 b	750	750				
減価償却費 c		0				
総事業費 a+b+c	1,248	1,434	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価
結果指標 1	96.65	88.08	執行率	決算額÷予算額 H27目標値 100%	%	妥当性
結果指標 2	2,675.00	2,084.00	利用者数	利用者数 H27目標値 2000人	人	妥当
妥当性: 妥当 コスト削減の余地: 無 受益者負担: 適正 上位貢献度: 有効 類似事業の有無: 無 成果向上の余地: 有						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 下津原集会所を維持管理するうえで必要な事業である。
--------	---

事後評価備考	
--------	--